

HPE GreenLakeで クラウドの柔軟性とオンプレミスの コントロールを同時に獲得

HPE Pointnextのビジネス成果ベースの柔軟なIT消費モデル



パブリッククラウドサービスが人気を集める中、ビジネスリーダーはIT部門に従量制のエクスペリエンスを実現するようプレッシャーをかけています。それと同時に、セキュリティと制御に対するニーズも依然として高い状態にあり、ITチームはこうした状況の中で逃れようのないジレンマに陥っています。オンプレミスのIT環境を構築すれば、コンプライアンス、制御、およびセキュリティの目的を果たすことはできますが、そのためには膨大な時間と努力、そして先行投資が必要です。また、パブリッククラウドのIT環境を利用すれば、スピード、規模、および利便性の面でメリットを得られますが、オンプレミスのコントロールを犠牲にしなければなりません。

結局のところ、ワークロードの要件はそれぞれ異なるため、ハイブリッドソリューションは非常に魅力的ですが、ハイブリッドITは複雑なうえ、必要なときに必ずしも確保できるとは限らない時間、リソース、およびスキルセットが求められるのが実情です。そして現在も大部分のITリソースが日々の運用に投じられていることから、ビジネスニーズに対応するためのテクノロジーイノベーションの実現に注力できる時間がほとんど残されていないのは周知の事実です。

ここで、企業がクラウドの柔軟性と利便性を活かしながらセキュリティと制御を維持し、IT部門の運用面の負担を軽減するにはどうすればよいのか、という疑問が浮かんでくるわけですが、HPEは、HPE GreenLakeと呼ばれるオンプレミスの従量制のITソリューションを提供することにより、その答えを導き出しました。

新しいIT消費モデルの導入

従量制のITソリューションセットである **HPE GreenLake** を活用すれば、オンプレミスでパブリッククラウドの柔軟性を実現すると同時に環境を制御できます。また、従量制課金モデルを通じてオンプレミスでハードウェア、ソフトウェア、および専門知識を提供してIT部門の成果を向上させる、厳選された包括的なソリューションのカタログの中から最適なものを選択することが可能です。**Hewlett Packard Enterprise** のサービス組織であるHPE Pointnextは、最大のビジネス価値を得られる場所にITリソースを集中させることができるよう、お客様に代わってこうしたソリューションの実装と運用を行います。お客様は、自社のIT運用に合った方法で、従量制課金モデルを通じて任意のテクノロジーを利用することも可能です。

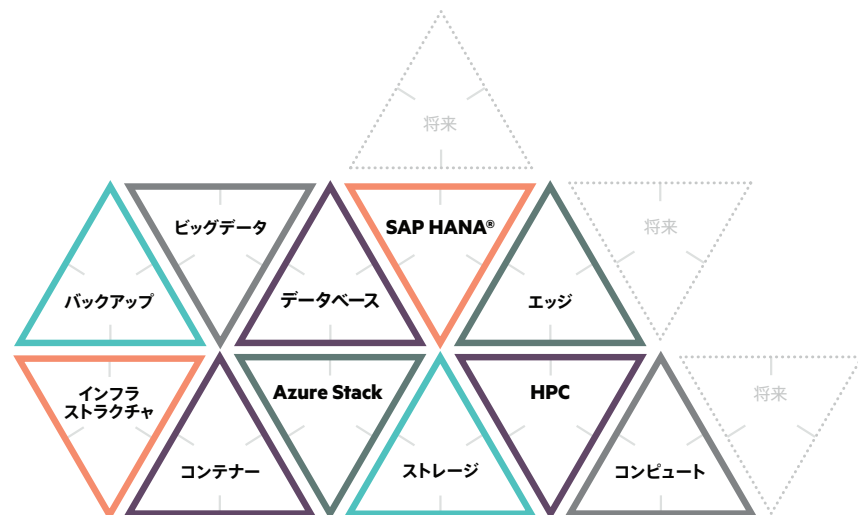


図1. HPE GreenLakeのソリューションポートフォリオ

各ソリューションの成果重視のメトリックを提供する **HPE Pointnext** のビジネス成果ベースのIT消費モデルは、HPEフレキシブルキャパシティサービスがベースとなっており、お客様はニーズ、専門知識のレベル、および社内のITリソースに応じて以下のいずれかを選択できます。

- Apache Hadoop、バックアップ、エッジコンピューティング、オープンソースのデータベースプラットフォーム、SAP HANAなどの成果を最短の時間で得られるようにする、事前構成済みのエンドツーエンドのHPE GreenLakeソリューション
- コンテナ、Microsoft® Azure Stack、ストレージ、VM、ハイパフォーマンスコンピューティング（HPC）、またはHPEが提供するその他のテクノロジーなどのインフラストラクチャを選択できる、モジュール方式のHPE GreenLakeフレックスキャパシティソリューション

HPE GreenLakeソリューション - すぐに使用できる事前構成済みのソリューション

HPE GreenLake スイートには、特定のワークロードやニーズを念頭に置いた設計の厳選された包括的なソリューションが含まれています。また各ソリューションには、ソリューションの設計や環境への統合に役立つアドバイザリおよびプロフェッショナルサービスオプションが付属しています。現在提供されているポートフォリオは、以下のとおりです。

HPE GreenLake Big Data: HPE GreenLake Big Dataにより、データサイエンティストはCloudera、またはHortonworksを使用して、HPEの最新のテクノロジーであるEnterprise Hadoopアーキテクチャーで事前に統合およびテストしたHadoopデータレイクですぐに作業を行うことができます。プラグアンドプレイの構成で価値を実現するまでの時間を短縮できるうえ、データセットを設計し直す必要がなく、別のデータセンターへのデータの引き渡しに伴うセキュリティや移動のリスクが生じることもありません。

HPE GreenLake Backup: HPE GreenLake Backupは、お客様に代わって運用され、毎月のバックアップ量に応じた料金を支払うだけで済む、オンプレミスのバックアップ容量を提供します。このソリューションには、HPEの最新のテクノロジー（お客様が選択した **HPE StoreOnce** と **HPE 3PAR Storage** のいずれか）に事前に統合されたCommvaultソフトウェアとそれを実行するためのHPEのメータリングテクノロジーおよび管理サービスが含まれており、お客様は自社のデータセンターの制御とセキュリティを維持しながら、瞬時にバックアップ容量を確保できます。

HPE GreenLake Database with EDB Postgres: アプリケーションやデータインサイトだけに注力できるようにお客様をサポートするソリューションにより、データベースプラットフォーム全体の運用を簡素化してTCOを大幅に削減することが可能です。このオープンソースのデータベースソリューションを活用すれば、オンプレミスでセキュリティを維持してプラットフォームのロックインを回避できます。

HPE GreenLake for SAP HANA: HPE GreenLake for SAP HANAは、適正規模のSAP®認定ハードウェア、オペレーティングシステム、およびサービスでワークロードのパフォーマンスと可用性の目標を達成できる、完全管理型のオンプレミスアプライアンスを提供します。SAPインフラストラクチャのリーディングサプライヤーであるHPEが設計、実装、管理するHPE GreenLake for SAP HANAは、非常に要求の厳しいミッションクリティカルなアプリケーションに必要とされるパフォーマンス、セキュリティ、およびコントロールを実現します。

HPE GreenLake Edge Compute: HPE GreenLake Edge Computeにより、HPEは、お客様が製品やサービスを構築する環境に対しての洞察力と制御を強化するとともに、顧客のエクスペリエンスを向上させるテクノロジーを提供します。このソリューションは、従量制課金モデルで設計、実装、運用されるため、展開サイクルが長期化したりスタッフの問題が生じたりすることがありません。HPE Edgelineコンバージドシステム、HPE Edgelineインテリジェントゲートウェイ、およびArubaネットワーク製品を活用すれば、セキュアな接続を確立して必要な場所で必要な処理を行い、情報に基づいて措置を講じることができます。

HPE GreenLakeフレックスキャパシティ - 任意のテクノロジーによるカスタマイズが可能

上記の事前構成済みのソリューションだけでなく、お客様はHPE GreenLakeフレックスキャパシティと呼ばれるカスタマイズされたソリューションで任意のテクノロジーを利用できます。次世代のHPEフレキシブルキャパシティであるHPE GreenLakeフレックスキャパシティは、HPEのお客様にモジュール性、効率、およびコスト競争力に優れたエクスペリエンスを提供します。実際に測定された使用量に応じて変動する料金、予備容量のオンサイトバッファによる迅速な拡張、エンタープライズグレードのサポート、そしてお客様のニーズに対応できる柔軟性がオンプレミスのインフラストラクチャにクラウド並みのエクスペリエンスをもたらします。

HPE GreenLakeフレックスキャパシティを活用すれば、HPEとMicrosoft社、VMware®社、Docker社などのパートナー企業が提供する幅広いオプションの中から最適なものを選択し、お客様が求めている方法でサポートおよび運用されるインフラストラクチャソリューションを設計して利用することが可能です。現在提供されているソリューションには、以下のようなものがあります。

コンテナ: HPE GreenLakeフレックスキャパシティの従量制課金モデルでDockerコンテナソフトウェアとHPEの任意のサーバー、ストレージ、およびネットワーク機器を使用してプラットフォームを構築できます。開発者や運用担当者に適切なテクノロジーを提供してコンテナノード単位で料金を支払うとともに、プラットフォームのための適切なサポートを追加するか、プラットフォームの運用をHPEに任せることが可能です。



Microsoft Azure Stack: HPE ProLiant for Azure StackプラットフォームとHPE GreenLakeフレックスキャパシティを併用することにより、Microsoft Azure Stackインフラストラクチャで従量制がもたらす優れた経済性とスケーラビリティを得ることができます。HPE GreenLakeフレックスキャパシティを利用すれば、測定されたオンプレミスのAzure Stackの使用量に応じて月額料金変動するアクティブな容量管理が可能になります。1社とのパートナーシップ、1つの請求書、そして1つの契約でAzureとAzure Stack両方のサービスを利用できます。

HPC: ニーズに合わせて拡張できる従量制課金モデルにより、業界をリードする **high-performance computing infrastructure** とHPE Pointnextのサービスを組み合わせ活用することが可能です。運用コストを削減すると同時にイノベーションとビジネスの成長を可能にするHPC環境の設計、構築、および展開をサポートしてくれるスペシャリストとのコラボレーションにより、リスクを軽減できます。

両者のメリットを最大限に活用

ビジネス成果ベースの **IT consumption** には、単独で基礎から構築したソリューション、またはパブリッククラウドのソリューションでは得られないさまざまなメリットがあります。HPE GreenLakeは、両者のメリットを最大限に活用して以下の実現をサポートします。

- すぐに使用できるうえ、ニーズに先立って拡張することが可能な厳選された包括的なソリューションで **価値を実現するまでの時間を短縮する**
- シンプルで料金が明確な柔軟性の高い従量制課金モデルで **経済性を向上させる**
- **オンプレミス** でコンプライアンス、パフォーマンス、およびセキュリティを適切に制御する
- HPEがお客様に代わって運用する **シンプルなIT環境** でリソースを解放し、ビジネス価値を向上させる

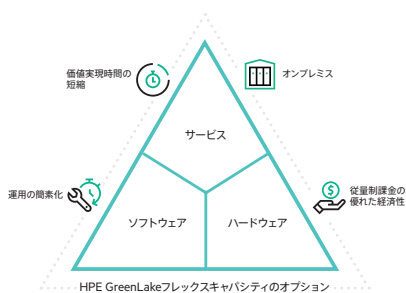


図2. HPE GreenLakeのビジネス価値

HPE Pointnextの専門知識でエクスペリエンスを最適化

新しいソリューションの設計が完了するまでの時間、長期間にわたる調達サイクル、多額の先行投資、リスクの高いDIY方式の実装、そして多大な労力を必要とする運用といった、従来のIT環境の問題の多くを解決できます。

それどころか、お客様のために多くの作業を行って安心感を高めるソリューションにより、エクスペリエンスを最適化することが可能です。HPE GreenLakeソリューションは、HPEのテクノロジーを中核としています。また、すべてのソリューションを設計してきたことから、それらを迅速に実装する方法を正確に把握しているHPE Pointnextのエキスパートがお客様に代わって運用を行うため、最高のパフォーマンスと価値を得られます。これらのエキスパートは、ビジネスが成長する中で後れを取らないよう、ポリシー、手順、および技術要件の変化に合わせて少しずつソリューションを進化させ、長期間にわたるアジリティの向上と投資の保護を可能にします。

HPE Pointnextが選ばれる理由

ヒューレット・パッカード エンタープライズのサービス組織である **HPE Pointnext** は、ハイブリッドITの簡素化に必要な専門知識を提供します。従量制のIT環境におけるHPEの実績とリーダーシップ、インフラストラクチャの強み、およびパートナーエコシステムを融合させたHPE Pointnextのプロフェッショナルは、より短期間で成果の向上をサポートすることが可能です。

詳細情報

hpe.com/jp/greenlake

メールニュース配信登録